

部門	受賞者	評価のポイント
男女が共に活躍できる社会づくり部門	POSCO Japan PC株式会社 荻田工場 (企業、荻田町)	・男女問わず活躍するため、子の看護等休暇の対象年齢の引き上げや要件の緩和等により福利厚生を充実。 ・保守的な鉄鋼業界の中で、男性がメインであった業務や職種でも本人の希望や適性により性別問わず配属し、仕事を任せる方針へ転換。実際に女性社員が、福岡県内の拠点間で部署異動やジョブローテーションにより能力を発揮して生き生きと活躍している。
	三井金属株式会社 機能材料事業本部 セラミックス事業部 (企業、大牟田市)	・実際に働く女性へのヒアリングやアンケートをもとに、作業器具のサイズを女性が持ちやすくすることで負荷を軽減したり、体の大きさにかかわらず検査設備が使用できるように反射鏡を設置したりするなどの改善を実現。 ・濃色の作業着の導入による生理中の心理的不安の軽減や、女性社員が夜間勤務を選択できるよう防犯ブザーを配布するなど、男女がともに働きやすい職場環境の整備を進めたことで女性社員の満足度が向上している。
困難な問題を抱える女性への支援部門	おおにし りょう 大西 良 (個人、直方市)	・家庭環境の問題、学校でのいじめなど様々な理由から行き場を失った若者の悩みや不安に耳を傾ける「夜回り活動」を入口に、適切な相談が受けられる窓口への橋渡しや居場所の提供などきめ細かな支援活動を実施。 ・ひとり親家庭への支援団体「シンママ福岡応援団」の代表として、シングルマザーとその子どもたちが交流できる場の提供、またコロナ禍で支援の要請が高まった食料品や生活必需品の継続的な支援など一人ひとりに寄り添った活動を展開している。
	特定非営利活動法人 いとしまこども食堂 ほっこり (団体、糸島市)	・月1回のこども食堂を通じて、参加者全て、特に生活困窮世帯、ひとり親家庭などの精神的なケアに取り組む。また地元企業と連携して、ひとり親家庭などの雇用促進にも尽力。 ・抗がん剤等の副作用により髪の毛に影響が出た人に対し、タオルで作った帽子を提供。また、がん経験者をはじめ悩みを抱える人たちのコミュニティの場を提供している。
女性の先駆的活動部門	大木町女性の会 (団体、大木町)	・「共助」をしっかり実践する、そのために自治区長会と連携した防災研修会や防災運動会の開催に加え、大木町社会福祉協議会と「災害時相互協力協定」を締結。また、農業の場に女性の声を届けるため、令和4年度に男性委員の協力も得て、県農業会議が示す新規加入者の目標達成率で県内1位を達成。 ・このほかにも、花いっぱい運動や資源ごみを再利用した取組など精力的に活動を展開している。
	はなだ りえ 花田 理恵 (個人、篠栗町)	・重機や溶接機器を扱う現場では「女性には難しい」との固定観念が根強い中、「女性が活躍できる職場づくり」と「業界のイメージ改革」に取り組んでいる。 ・女性を積極的に採用するとともに、時短勤務やシフト制などの多様な働き方を取り入れ、子育てや家族の事情にも配慮した特別休暇制度を活用するなど、社員が安心して働き続けられる環境を整えている。